MSXView

エムエスエックス・ビュウ

ver.1.21マニュアル

ASCII

はじめに

このたびは、MSXView 1.21 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。MSXView は、画面に表示されたアイコンとメニューにより、プログラムの起動やファイルの複写・削除などを簡単に行うことができる、視覚的な操作環境（GUI:グラフィカルユーザーインターフェイス）を提供するシステムソフトウェアです。MSXView に対応したソフトウェアは使い方が統一されるので、異なるソフトウェアを使うときも、操作方法を覚えるのが簡単です。

したがって、初めてパーソナルコンピュータに触れる方でも、わずかな学習で、無理なくMSX を使いこなすことができます。

このパッケージには以下のソフトウェアが付属しています。

プログラム名	内容
VSHELL（ブイシェル）	ファイルの複写や削除、アプリケーションの起動などを行います。
ViewDRAW（ビュウドロウ）	直線や四角などで図形を描きます。
ViewTED（ビュウテッド）	簡易日本語ワープロとしても使えるテキストエディタです。
ViewPAINT（ビュウペイント）	ドット単位で図形を描くグラフィックエディタです。
PageBOOK（ページブック）	MSXView 上で電子的な「本」を作成し実行するプログラム群です。

MSXView 1.21 は「MSXView 1.21 ユーザーズマニュアル」、「VSHELL マニュアル」、「アプリケーションマニュアル」をよくお読みになった上でご活用下さい。

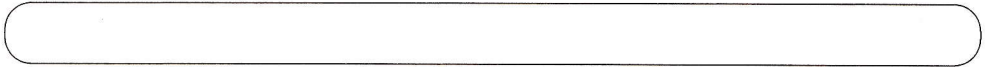
ご注意

1. このソフトウェア、マニュアルの一部または全部を株式会社アスキーの文書による許可なくして複製することは、メディアの形態を問わず禁じます。
2. このマニュアルに記載されている事柄は 、将来予告なく変更することがありますが、当社に登録されている方にはご案内をお送り致します。
3. 製品の内容については万全を期しておりますが、製品の内容についてのご不審や誤り、マニュアルの記載もれなど、お気づきのことがございましたら、マニュアルの巻末の「お問い合わせについて」の要領で問い合わせ下さい。
4. このソフトウェアを運用した結果の影響については、3 項にかかわらず、責任を負いかねますのでご了承下さい。

このマニュアルの表記法

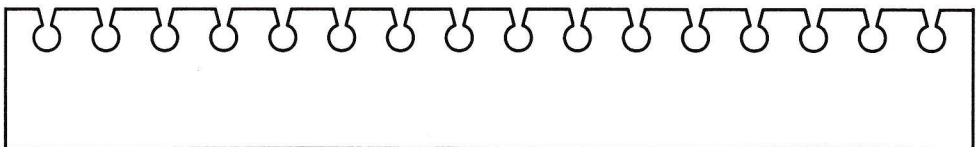
1. [A] などはキーボードに刻印されているとおりに表記します。
2. リターンキーは [RETURN] または [↵]、ファンクションキーは [F1] などと表記します。
3. 「... を押しながら ... を押す」といったキー操作に関しては、

   [SHIFT] + [F1]

   のように表記します。
4. ディスプレイに表示される文字に関しては、

   のように囲みます。
5. キーボードから文字や数字を連続して打ち込むキー操作に関しては、

   A>FORMAT B:↵

   のようにアンダーラインで表記します。

   この例では、キーボードの [F] [O] [R] [M] [A] [T] [SPACE] [B] [:] を順番に押し、最後にリターンキーを押すことを示します。
6. 原則的に入力する文字は大文字、小文字を問いませんが、大文字と小文字の区別が必要なときは、マニュアルにその旨を記載します。全角文字と半角文字は必ず区別します。
7. 知っていると便利な情報は、

   のように囲みます。
8. このマニュアル中で示される MSX の画面はレイアウトなどの都合上、縦横比が変わっていることがあります。あらかじめご了承下さい。

目次

第 1 章

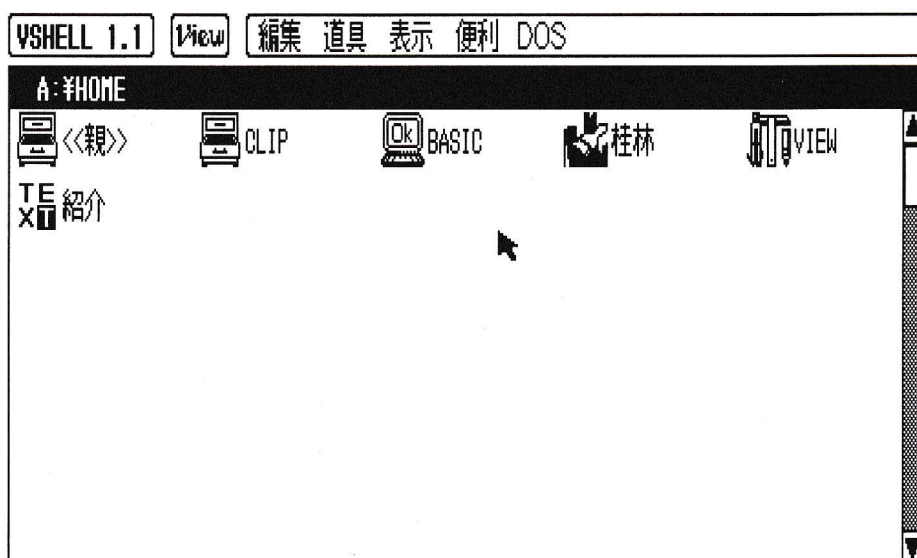
MSXView 1.21 とは

MSXView 1.21 は、より使いやすいユーザーインターフェイスを目指し、次のような点を強化しました。

1. VSHELL から MSX-DOS2 のコマンドを実行できます。
2. VSHELL にスクリーンセーバー機能がつきました。
3. VSHELL で文字の入力時に、[CTRL] + [SPACE] キーで、全角・半角を切り換えることができます。
4. PageBOOK で PCM データの再生機能がつきました。
5. マウスが接続されているかどうかを自動判別します。マウスはポート 1 に接続します。
6. ジョイスティック（ジョイパッド）に対応しました。これも自動判別します。ジョイスティックはポート 2 に接続します。

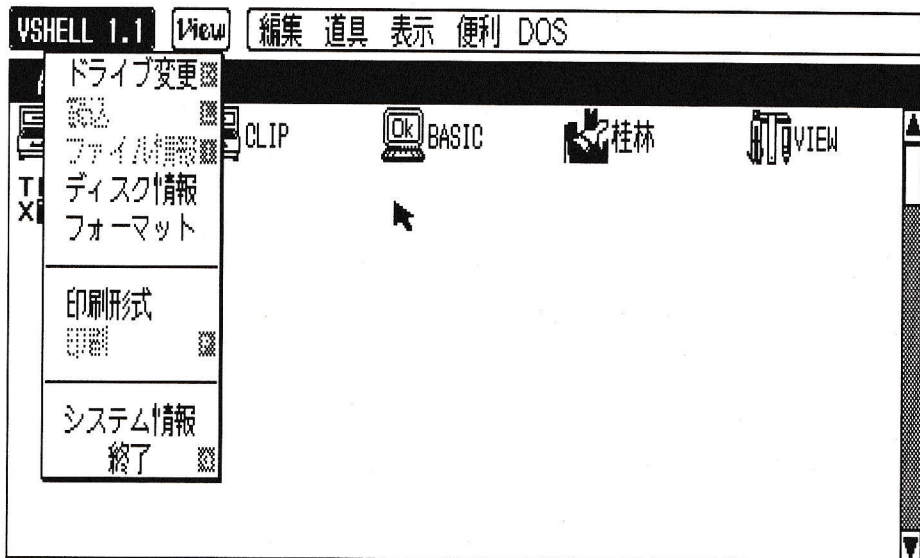
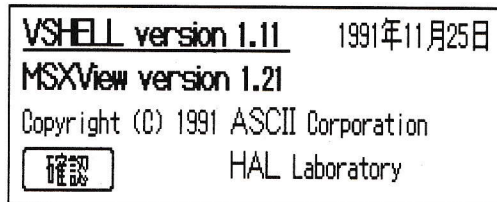
このマニュアルは、MSXView 1.0 から MSXView 1.21 になって変わった点を中心に構成しています。VSHELL や各アプリケーションソフトウェアの具体的な操作方法については、「VSHELL マニュアル」と「アプリケーションマニュアル」を参照して下さい。

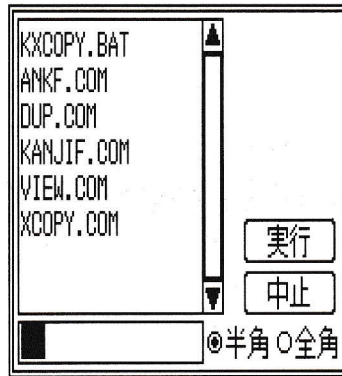
第 2 章

VSHELL の変更点

MSXView 1.21 では、VSHELL はバージョン 1.1 になり、次の機能が追加されました。

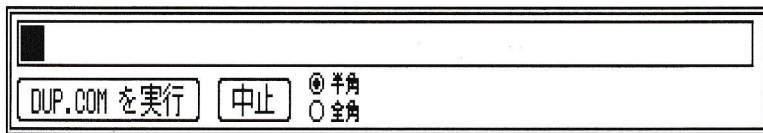
- タイトルバーの変更
- DOS コマンドの実行機能
- スクリーンセーバーの実行機能
- [CTRL] + [SPACE] キーによる、全角・半角の切り換え機能

この章では、これらの変更点について説明します。

2.1 タイトルバー

タイトルメニュー内に、「システム情報」というメニューが追加されました。それを選択すると、次のように VSHELL および MSXView のバージョンが表示されます。

2.2 DOS

コマンドバーの「DOS」をクリックすると、PATH で指定したディレクトリにある拡張子が COM、BAT、VBT のファイル、およびカレントディレクトリにある拡張子が BAS のファイルを表示します。

それぞれの拡張子の意味は次のとおりです。

拡張子	意味
COM	MSX-DOS の外部コマンド（実行用ファイル）
BAT	MSX-DOS のバッチファイル
BAS	BASIC のプログラムファイル
VBT	MSXView 専用のバッチファイル

表示されたファイルをダブルクリック（もしくは、プログラムを選択して 実行 をクリック）すると、パラメータを入力するウィンドウが表示されます。

パラメータをキーボードから入力したら、ウィンドウ左下のボタン（上記の例では、DUP.COM を実行 ）をクリックするか、↵ キーを押して下さい。パラメータを入力しないときは、そのまま実行のボタンをクリックします。すると、MSX-DOS2 に戻り、指定したファイルが実行されます。

コマンドが終了したら、

```
Press any key to return to MSXView.
```

と表示されるので、何かキーを押すか、マウスのボタンをクリックして下さい。

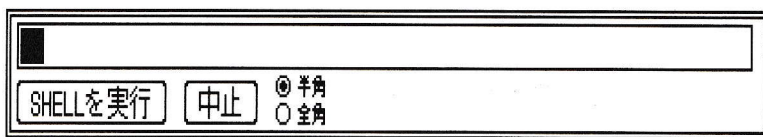
拡張子が VBT のファイルを指定すると、パラメータを入力するウィンドウは開かれず、VBT ファイルの中で指定したプログラムが実行されます。

VBT ファイルに指定できるのは、MSX-DOS2 の内部コマンド、外部コマンド、バッチファイルです。ただし、メモリをたくさん使うプログラムは起動できないことがあります。

VBT ファイルの 1 行目が空行（改行コードだけ）のときは、環境変数の SHELL で指定されたシェルプログラム（通常は COMMAND2.COM）が起動します。SHELL を起動するには、以下のような方法もあります。

注　意　VBT ファイル中で有効なのは、最初の 1 行だけです。2 行目以降は指定しても意味はありません。

MSX-DOS2 のコマンドレベル（A>が表示されている状態）を呼び出すときは、コマンドファイルが表示されているウィンドウのときに、何も指定しないで、実行 をクリックします。そうすると、次のようなパラメータ入力ウィンドウが表示されるので、SHELL を実行 をクリックします。

SHELLを実行　中止　◉半角　○全角

MSXView に戻るときは、

```
A>exit↵
```

と入力し、Press any key to return to MSXView. と表示されたら、何かキーを押すか、マウスのボタンをクリックして下さい。

注　意　VSHELL から「DOS」で MSX-DOS2 のコマンドレベルを呼び出し、SET コマンドで環境変数を変更して MSXView に戻っても、変更した内容は無効です。

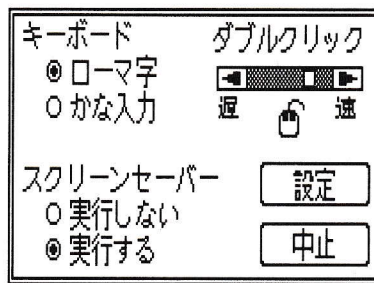
VBT ファイルは、MSX-DOS2 のバッチファイルと同様に、MSX-DOS2 で動作するテキストエディタ（「MSX-DOS2 TOOLS」の KID.COM など）や ViewTED で作成することができます。

2.3 スクリーンセーバー

スクリーンセーバーとは、一定時間以上同じ画面が表示されているときに、画面の焼き付けを防ぐために専用のソフトウェアを自動的に起動する機能です。MSXView 1.21 の VSHELL では、この機能をサポートしました。

スクリーンセーバー機能を使うためには、次のように設定します。

1. DA バーをクリックし、DA のシステム設定を起動します。

2. 「スクリーンセーバー」を「実行する」に設定します。

初期設定では、5 分間イベント（マウスのボタンクリックなど）がないと、¥VIEW¥BIN¥BGV.))) というスクリーンセーバープログラムが実行されます。

BGV.))) 以外のスクリーンセーバーを使うときは、環境変数の VIEWDEMO にそのプログラム名をフルパスで設定して下さい。

注　意

スクリーンセーバーを起動するのは、VSHELL の機能です。したがって、ViewTED などのアプリケーションが実行されている状態では、スクリーンセーバーは起動しません。また、VSHELL 起動時でも、「編集」や「道具」などのメニューが開いた状態では、スクリーンセーバーは起動しません。

2.4 全角・半角の切り換え

ファイル名のなどの文字入力で、全角・半角の切り換えボタンのついているウィンドウでは、 CTRL + SPACE キーで、全角と半角を切り換えることができます。

第 3 章

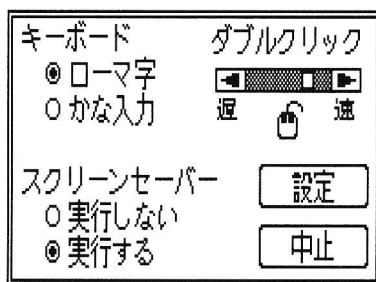
DA の変更点

MSXView 1.21 の機能が強化されたことにともなって、デスクアクセサリ（DA）も変更されています。

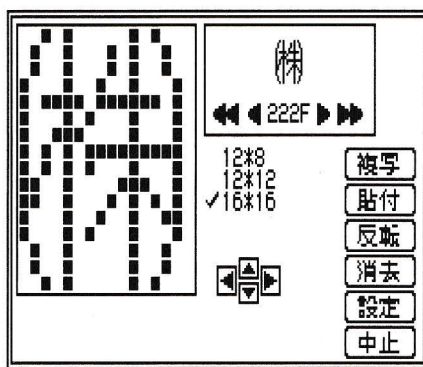
この章では、仕様が変更された「システム設定」と「外字作成」の各 DA について説明します。

3.1 システム設定

マウスの自動選択機能やスクリーンセーバー機能の追加により、「システム設定」は次のように変更されました。

項目	MSXView 1.0	MSXView 1.21
キーボード	JIS 配列、五十音配列	かな入力
入力	キーボードのみ、マウス	
スクリーンセーバー		実行しない、実行する

3.2 外字作成

外字作成.DA では、次の点を変更しました。

1. 外字編集部の 1 ドットのサイズを大きくし、編集しやすくしました。
2. 編集途中で中止（編集内容を取りやめる）することができるようになりました。

3.3 プリンタ

MSXView 1.21 のプリンタドライバでは、用紙のプリンタへの挿入位置を各プリンタの刻印どおりになるよう変更しました。

また、MSXView 1.21 でサポートするプリンタは次のとおりです。

メーカー名	プリンタ名	プリンタドライバ名
brother	M-1224P/X	M-1024X2.PD
	M-1024X（第 2 水準漢字 ROM なし）	M-1024X.PD
	M-1024X（第 2 水準漢字 ROM あり）	M-1024X2.PD
	M-1024IIP/X（第 2 水準漢字 ROM なし）	M-1024X.PD
	M-1024IIP/X（第 2 水準漢字 ROM あり）	M-1024X2.PD
SONY	HBP-F1	HBP-F1.PD
	HBP-F1C	HBP-F1.PD
	PRN-M24（第 2 水準漢字 ROM なし）	M-1024X.PD
	PRN-M24（第 2 水準漢字 ROM あり）	M-1024X2.PD
	PRN-T24（漢字 ROM なし）	PRN-T24.PD
	PRN-T24（第 1 水準漢字 ROM あり）	PRN-T24K.PD
Panasonic	FS-P400（第 2 水準漢字 ROM なし）	M-1024X.PD
	FS-P400（第 2 水準漢字 ROM あり）	M-1024X2.PD
	FS-PC1	FS-PC1.PD
	FS-PA1	FS-PA1.PD
	FS-PW1	FS-PW1.PD
	FS-PK1	FS-PK1.PD

注　意　　MSXView 1.0 のプリンタドライバを使うこともできます。

第 4 章

アプリケーションの変更点

MSXView 1.21 では、付属のアプリケーションプログラムで、以下の点が変更されました。

4.1 ViewDRAW

ViewDRAW の変更点は次のとおりです。

1. セレクトツールを矢印（ ）から四角（ ）に変更しました。

4.2 ViewPAINT

ViewPAINT の変更点は次のとおりです。

1. 線種メニューの「描きつぶし」を「塗りつぶし」に変更しました。
2. 消しゴムアイコンを消しゴムつき鉛筆（ ）から普通の消しゴム（ ）に変更しました。

4.3 PageBOOK

PageBOOK システムでは、PCM データを再生する機能を追加しました。これにより、PCM 再生を簡単に実現することができます。

以下では、PageBOOK システムを構成する 3 つのプログラム（PageEDIT、PageLINK、PageVIEW）の変更点について説明します。

4.3.1 PageEDIT

PageEDIT で変更した点は次のとおりです。

1. 表示メニューの「palette …」を「パレット …」に変更しました。
2. PCM データの再生用として、$pcmplay、pcmplay の 2 つのスクリプトを追加しました。

PCM 再生のためのスクリプト

PCM データの再生をするに、$pcmplay と pcmplay の 2 つのコマンドが使用できます。この 2 つの違いはデータの持ち方にあります。

pcmplay は PageVIEW 実行時に、外部ファイルを読み込み、音声データを再生します。$pcmplay は PageLINK がページデータファイルをリンクする際に、PCM データファイルを取り込み、.BOK ファイル中に置きます。このため、.BOK ファイルのサイズは PCM データの分だけ大きくなりますが、.BOK ファイルだけで PCM データを再生することができます。

$pcmplay

書式 `$pcmplay` <ファイル名><再生レート>

解説 <ファイル名>は、PageLINK 実行時に MSX turbo R 本体に接続されているフロッピーディスク、ハードディスク、RAM ディスクなどの記憶装置上にあるファイルをフルパスで指定します。

<再生レート>は 0、1、2、3 のいずれかを指定します。再生周波数との関係は次のとおりです。

<再生レート>	再生周波数
0	15.75KHz
1	7.875KHz
2	5.25KHz
3	3.9375KHz

pcmplay

書式 `pcmplay` <ファイル名><再生レート>

解説 <ファイル名>は、PageVIEW 実行時に MSX turbo R 本体に接続されているフロッピーディスク、ハードディスク、RAM ディスクなどの記憶装置上にあるファイルをフルパスで指定します。

<再生レート>は 0、1、2、3 のいずれかを指定します。再生周波数との関係は次のとおりです。

<再生レート>	再生周波数
0	15.75KHz
1	7.875KHz
2	5.25KHz
3	3.9375KHz

4.3.2 PageLINK

PageEDIT で、$pcmplay コマンドが加わったことにより、PageLINK には、PageEDIT の BOK データを「製本」する際に、$pcmplay で指定されたファイルを PageVIEW データファイル中に取り込む機能が追加されました。指定されたファイルが存在しないときは、エラーダイアログを表示して処理を中断します。指定できるファイル数の上限は 873（=裏 VRAM/sizeof (Index 構造体)=65536/75）です。同一ファイルを何回指定しても、製本の際に取り込まれる PCM データはひとつだけです。

実際に製本できるデータ量は BOK ファイルが作られる記憶装置の空き容量以内です。

4.3.3 PageVIEW

PageVIEW では、PCM データの再生と PCM データファイルの再生機能が追加されました。

PCM データの再生

スクリプトコマンド（$pcmplay）で指定され、PageLINK によって製本された PCM データを再生します。

PCM データファイルの再生

スクリプトコマンド（pcmplay）で指定された PCM データファイルを読み込み、再生します。

第 5 章

その他の変更点

5.1 COMMAND2.COM

付属の COMMAND2.COM のバージョンが 2.30 から 2.31 になりました。変更点は次のとおりです。

1. 環境変数名の前後に%をつけることで、コマンド行に環境変数を取り込むことができます。

```
A>ECHO %PATH%
; A:¥UTILS
```

環境変数 PATH の内容を表示します。

2. IF コマンドが追加されました。コマンドの意味は次のとおりです。

IF

内部コマンド

機　能

条件判断をしてコマンドを実行します。

書　式

IF [NOT] 条件 コマンド

解　説

条件が真のときにコマンドが実行されます。

IF コマンドでは次の条件を指定することができます。

- EXIST ファイル名
  ファイル名が存在するときに真になります。
- 文字列 1==文字列 2
  文字列 1 と文字列 2 が等しいときに真となります。大文字と小文字は同じとみなされます。「%パラメータ」と「%環境変数%」は変換された後に比較されます。

NOT をつけると条件が成立しないときにコマンドが実行されます。

文　例

```
A>IF EXIST AUTOEXEC.BAT ECHO I have AUTOEXEC.BAT
I have AUTOEXEC.BAT
```

AUTOEXEC.BAT というファイルが存在した場合、上記のように「I have AUTOEXEC.BAT」と表示します。

```
A>IF %PROMPT%==ON ECHO Prompt is ON
Prompt is ON
```

環境変数 PROMPT が「ON」の場合、上記のように「Prompt is ON」と表示します。

5.2 漢字モードからの起動

MSXView 1.21 は、漢字モードから起動することができます。SHELL が実行されたときや MSXView が終了したときは、起動時のモードに戻ります。

ただし、環境変数を数多く設定すると、Cannot get enough WorkArea. エラーが発生して、漢字モードから起動できないことがあります。

5.3 マルチパス

MSXView 1.21 では、以下の環境変数で、パスを「;」で区切ることによって、複数のディレクトリを指定すること（マルチパス）ができます。

ただし、ファイル名を含めたひとつのパスの文字列は 63 文字以下でなければなりません。ひとつの環境変数に指定できる最大文字数は、127−(5+指定した環境変数の文字数) という計算式で求めることができます。

マルチパスをサポートする環境変数は次のとおりです。

環境変数名	意味
VIEWBIN	MSXView アプリケーション（道具）を入れるディレクトリ
VIEWDA	DA（デスクアクセサリ）を入れるディレクトリ
VIEWOVL	システムオーバーレイファイルを入れるディレクトリ
VIEWFONT	フォントファイルを入れるディレクトリ
VIEWPD	プリンタドライバを入れるディレクトリ
VIEWDATA	GAIJI.MV、PREF.MV を入れるディレクトリ

5.4 環境変数

MSXView 1.21 では、次の環境変数が追加されました。

環境変数名	意味
VIEWDEMO	スクリーンセーバーのファイル名
VIEWDATA	GAIJI.MV、PREF.MV を入れるディレクトリ

5.5 BASIC

MSXView 1.21 システムディスクの ¥HOME ディレクトリには、BASIC.BAS というファイルがあります。このファイルをダブルクリック（マウスの左ボタンを「カチッ、カチッ」と素早く 2 回押すこと）すると、MSXView が終了して、BASIC が起動します。

第 6 章

システムディスクの内容

MSXView 1.21 システムディスクには、以下のファイルが入っています。

6.1 実行用ディスク・保存用ディスク

MSXView 1.21 の実行用ディスクおよび保存用ディスクの内容は、以下のとおりです。

ファイル（ディレクトリ）名	アイコン	内容
MSXDOS2.SYS		MSX-DOS2 のシステムファイル
COMMAND2.COM		MSX-DOS2 のシステムファイル
AUTOEXEC.BAT		MSX-DOS2 起動後に自動実行されるバッチファイル
REBOOT.BAT		環境変数などを設定するバッチファイル
¥UTILS		MSX-DOS2 のユーティリティプログラムが入ったディレクトリ
VIEW.COM		MSXView を起動するプログラム
DUP.COM		1 台のフロッピーディスクでフロッピーをコピーするプログラム
XCOPY.COM		ファイルやディレクトリをコピーするプログラム
KXCOPY.BAT		漢字のファイルやディレクトリをコピーするバッチファイル

ファイル（ディレクトリ）名	アイコン	内容
KANJIF.COM		MSX-DOS2がANKモードのときに、漢字のファイルを正しくコピーできるようにするプログラム
ANKF.COM		KANJIF.COMで変えたMSX-DOS2の状態を元に戻すプログラム
¥VIEW		MSXViewのシステムファイルが入ったディレクトリ
MSXVIEW.MV		MSXViewのカーネル
VSHELL.)VS		VSHELL
ICONEXT.VS		アイコンとファイルの関連を記録したファイル
ICONPAT.VS		アイコンのパターンを記録したファイル
GAIJI.MV		外字を保存するファイル
¥VIEW¥BIN		MSXViewのアプリケーションが入ったディレクトリ
DRAW.)DR		ViewDRAW
TED.)TX		ViewTED
PAINT.)BT		ViewPAINT
PAGEEDIT.)CM		PageEDIT
PAGELINK.)PL		PageLINK
PAGEVIEW.)BO		PageVIEW
BGV.)))		BGV（スクリーンセーバー）
¥VIEW¥DA		MSXViewのデスクアクセサリ（DA）が入ったディレクトリ
システム設定.DA		ダブルクリックの長さの調整など、システム関連の設定を行うDA
プリンタ.DA		使用するプリンタを設定するDA
画面調整.DA		画面の位置やVSHELLの色などを設定するDA
単語登録.DA		単語を登録するDA

ファイル（ディレクトリ）名	アイコン	内容
単語削除.DA		単語登録DAで登録した単語を削除するDA
外字作成.DA		外字を作成するDA
¥VIEW¥OVL		MSXViewのオーバーレイプログラムを入れるディレクトリ
DOSMENU.MV		VSHELLのDOSメニュー実行時に呼び出されるプログラム
FILEPACK.MV		ファイルのアクセス時に呼び出されるプログラム
FILEMENU.MV		ファイルの一覧を表示するときに呼び出されるプログラム
FONTMENU.MV		フォントの一覧を表示するときに呼び出されるプログラム
FORMAT.MV		タイトルメニューの「フォーマット」で呼び出されるプログラム
SETICON.MV		アイコンエディットのときに呼び出されるプログラム
RGB.OVL		画面のRGBを変更するときに呼び出されるプログラム
¥VIEW¥FONT		フォントファイルを入れるディレクトリ
EUROPE.!FB		16ドットのヨーロッパ書体ファイル
EUROPE.!FJ		24ドットのヨーロッパ書体ファイル
NASA.!GB		16ドットのナサ書体ファイル
NASA.!GJ		24ドットのナサ書体ファイル
NEWYORK.!HB		16ドットのニューヨーク書体ファイル
NEWYORK.!HJ		24ドットのニューヨーク書体ファイル
EGYPT.!IB		16ドットのエジプト書体ファイル
EGYPT.!IJ		24ドットのエジプト書体ファイル
¥VIEW¥PD		プリンタドライバを入れるディレクトリ
FS-PW1.PD		FS-PW1用のプリンタドライバ
FS-PK1.PD		FS-PK1用のプリンタドライバ

ファイル（ディレクトリ）名	アイコン	内容
FS-PA1.PD		FS-PA1 用のプリンタドライバ
FS-PC1.PD		FS-PC1 用のプリンタドライバ
HBP-F1.PD		HBP-F1 用のプリンタドライバ
PRN-T24.PD		PRN-T24 用のプリンタドライバ（漢字 ROM なし）
PRN-T24K.PD		PRN-T24 用のプリンタドライバ（漢字 ROM あり）
M-1024X.PD		M-1024 シリーズ用のプリンタドライバ（第 2 水準漢字 ROM なし）
M-1024X2.PD		M-1024 シリーズ用のプリンタドライバ（第 2 水準漢字 ROM あり）
¥HOME		各種のデータファイルを入れるディレクトリ
VIEW.DRW		ViewDRAW 用のサンプルデータ
紹介.TXT		ViewTED 用のサンプルデータ
桂林.BTM		ViewPAINT 用のサンプルデータ
BASIC.BAS		MSXView を終了し、BASIC を起動するプログラム
¥HOME¥CLIP		標準ファイルを入れるディレクトリ

6.2 OverVIEW ディスク

MSXView 1.21 の OverVIEW ディスクの内容は、以下のとおりです。

ファイル（ディレクトリ）名	アイコン	内容
MSXDOS2.SYS		MSX-DOS2 のシステムファイル
COMMAND2.COM		MSX-DOS2 のシステムファイル
AUTOEXEC.BAT		MSX-DOS2 起動後に自動実行されるバッチファイル
REBOOT.BAT		環境変数などを設定するバッチファイル
¥UTILS		MSX-DOS2 のユーティリティプログラムが入ったディレクトリ
VIEW.COM		MSXView を起動するプログラム
DUP.COM		1 台のフロッピーディスクでフロッピーをコピーするプログラム
XCOPY.COM		ファイルやディレクトリをコピーするプログラム
KXCOPY.BAT		漢字のファイルやディレクトリをコピーするバッチファイル
KANJIF.COM		
ANKF.COM		
¥VIEW		MSXView のシステムファイルが入ったディレクトリ
MSXVIEW.MV		MSXView のカーネル
VSHELL.)VS		VSHELL
ICONEXT.VS		アイコンとファイルの関連を記録したファイル
ICONPAT.VS		アイコンのパターンを記録したファイル
GAIJI.MV		外字を保存するファイル
¥VIEW¥BIN		MSXView のアプリケーションが入ったディレクトリ
PAGEVIEW.)BO		PageVIEW

ファイル（ディレクトリ）名	アイコン	内容
BGV.)))		BGV（スクリーンセーバー）
¥VIEW¥DA		MSXViewのデスクアクセサリ（DA）が入ったディレクトリ
システム設定.DA		ダブルクリックの長さの調整など、システム関連の設定を行うDA
¥VIEW¥OVL		MSXViewのオーバーレイプログラムを入れるディレクトリ
DOSMENU.MV		VSHELLのDOSメニュー実行時に呼び出されるプログラム
FILEPACK.MV		ファイルのアクセス時に呼び出されるプログラム
FILEMENU.MV		ファイルの一覧を表示するときに呼び出されるプログラム
FONTMENU.MV		フォントの一覧を表示するときに呼び出されるプログラム
FORMAT.MV		タイトルメニューの「フォーマット」で呼び出されるプログラム
¥VIEW¥FONT		フォントファイルを入れるディレクトリ
EUROPE.!FB		16ドットのヨーロッパ書体ファイル
EUROPE.!FJ		24ドットのヨーロッパ書体ファイル
NASA.!GB		16ドットのナサ書体ファイル
NASA.!GJ		24ドットのナサ書体ファイル
NEWYORK.!HB		16ドットのニューヨーク書体ファイル
NEWYORK.!HJ		24ドットのニューヨーク書体ファイル
EGYPT.!IB		16ドットのエジプト書体ファイル
EGYPT.!IJ		24ドットのエジプト書体ファイル
¥VIEW¥PD		プリンタドライバを入れるディレクトリ
¥HOME		各種のデータファイルを入れるディレクトリ
OVERVIEW.BOK		PageVIEW用のデータ（OverVIEW）
¥HOME¥CLIP		標準ファイルを入れるディレクトリ

ファイル（ディレクトリ）名	アイコン	内容
¥HOME¥BOOK		OverVIEWのソースファイルが入ったディレクトリ
PAGELIST.PLK		OverVIEWを作成するためのPageLINKのリンクリスト
WELCOME.CMN		OverVIEWを作成するためのPageEDITのデータ
操作.CMN		
目次.CMN		
VSHELL1.CMN		
MKDIR1.CMN		
MKDIR2.CMN		
REN1.CMN		
REN2.CMN		
COPY1.CMN		
COPY2.CMN		
COPY3.CMN		
COPY4.CMN		
DEL1.CMN		
DEL2.CMN		
DEL3.CMN		
PB1.CMN		
全体像.CMN		
PE1.CMN		
PE2.CMN		
PL1.CMN		
PL2.CMN		
PV.CMN		
あれこれ.CMN		

ファイル（ディレクトリ）名	アイコン	内容
TREE.CMN		OverVIEW を作成するための PageEDIT のデータ
MAZE.CMN		
EXE.CMN		
あとがき.CMN		

付録 A

技術情報

A.1 アイコンの作成

A.1.1 アイコンエディット

アイコンパターンデータはICONPAT.VSというファイルに記録されています。アイコンパターンは、アイコンひとつにつき60バイトの大きさになります。MSXView 1.21では、登録できるアイコンパターンは40個までで、アイコン番号という数字で管理されています。アイコン番号は、「アイコンエディット」で表示されるアイコン一覧の左上から右方向に向かって、以下のように割り当てられています。

0	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31
32	33	34	35	36	37	38	39

MSXView 1.21は初期状態では、次表のようになっています。

アイコン番号	内容
0	ディレクトリ
1	未定義ファイル
2	MSXView システムファイル
3	デスクアクセサリ (DA)
4	フォント
5	プリンタドライバ
6	標準ファイル
7	道具 (アプリケーション)
8	MSX-DOS2 の実行ファイル
9	デスクアクセサリデータ
10	オーバーレイファイル
11	MSXView システムファイル
12	ViewTED とデータファイル
13	ViewDRAW とデータファイル
14	ViewPAINT とデータファイル
15	PageVIEW とデータファイル
16	PageEDIT とデータファイル
17	PageLINK とデータファイル
18	内蔵ソフト (MSXView 1.21 では未使用)
19	BASIC プログラム
20〜27	ユーザー用 (空白)
28〜39	未定義 (ViewCALC などのアプリケーションが追加する)

ユーザー用の 8 個はユーザーがアイコンをデザインできるように、空白のデータになっています。

ViewCALC などのアプリケーションは独自のアイコンをインストールプログラムで ICON-PAT.VS に組み込むようになっています。

A.1.2 ICONEXT.VS

ICONEXT.VS は、ファイルの拡張子とアイコンパターンとの関連付けを定義するファイルです。ICONEXT.VS の内容を変更すれば、特定の拡張子を持ったファイルを自作のアイコンで表示することができます。

ICONEXT.VS ファイルのフォーマットは、次のようになっています。

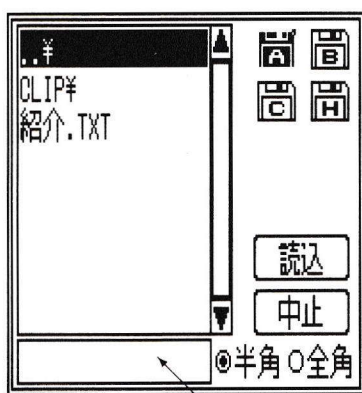
拡張子　セパレータ　アイコン番号　セパレータ　種類

それぞれの意味は次のとおりです。

内容	意味
拡張子	3 文字以内の文字列です。任意の 1 文字のワイルドカードとして、「?」を指定することができます。
セパレータ	タブまたはスペースを指定します。
アイコン番号	指定できるのは 1~40 の半角数字です。0 はディレクトリ用に予約されています。
種類	任意の文字列です。この部分が「ファイル情報」の「種別」欄に表示されます。
コメント	行頭に「*」(半角アスタリスク) があると、その行はコメント行であるとみなされます。

1 行は 80 文字 (バイト) 以内です。アイコンパターンと拡張子の関係は最大で 80 個まで指定できます。

ICONEXT.VS は ViewTED で編集することができます。編集方法は次のとおりです。

1. ViewTED を起動します。
2. タイトルメニューの「読込」を実行します。
3. ファイルダイアログが表示されたら、ファイル入力ウィンドウ (下図参照) をクリックし、キーボードから半角文字で「ICONEXT.VS」(小文字でも可) と入力します。

ファイル入力ウィンドウ

4. ICONEXT.VS を編集します。
5. 編集が終了したら、タイトルメニューの「更新」を実行します。
6. タイトルメニューの「終了」を実行します。

A.2 MSXView ファンクション

MSXView 1.21 のファンクションは、アスキーから発売している「MSX-Datapack turbo R 版」で公開しています。MSXView 用のアプリケーションプログラムやデスクアクセサリを開発する際には、「MSX-Datapack turbo R 版」を参照して下さい。

お問い合わせについて

弊社では厳重に梱包した上、細心の注意を払って製品を発送しております。万一、輸送上のトラブルが起こった場合にはご一報いただければ新しいものと交換いたします。

マニュアル作成にあたり、なるべく詳細な説明をするように心がけたつもりですが、理解できないところは、実際にコンピュータと向き合って納得のゆくまで確めて下さい。また、他のページを参照するのもひとつの方法です。それでも疑問点が解決できないときは、株式会社アスキー ユーザーサポート (直通電話 03–3498–0299) までお電話いただければ、係がお答えいたします。しかしながら、回線が混み合いご迷惑をかけることもありますので、なるべくお手紙にてお願いいたします。その際には、下記の要領で記入して下さい。記入されてない項目がひとつでもありますと、回答できかねる場合があります。十分注意して下さい。

また、本製品以外に対してのご意見、ご希望がありましたら、弊社までお寄せ下さい。

【記】

1. 送付先

〒107–24　東京都港区南青山 6–11–1　スリーエフ南青山ビル
株式会社アスキー ユーザーサポート係

TEL.　03–3498–0299
(祝祭日を除く月〜金曜日、10:00〜12:00、13:00〜17:00)

2. 必要事項

(a) お客様の氏名、住所 (郵便番号)、電話番号 (市外局番も含む)

(b) 製品名、製品シリアル番号、ユーザー ID 番号

(c) 機器構成
本体装置名、メモリバイト数
CRT 装置名、フロッピーディスク装置名
プリンタ装置名
その他 I/O、I/F 装置名

(d) お問い合わせ内容
お問い合わせの内容は、できるだけ製品のマニュアルに記述されている用語を用いて、具体的かつ明確に記述して下さい。なお、障害と思われる現象については、その現象を再現可能な情報が必要です。当社で再現できないものは、調査ができません。その現象が発生するまでの操作手順、データを必ず添付して下さい。データディスクがある場合は、そのコピーも同封していただくと調査がスピーディになります。

MSXView 1.21 ユーザーズマニュアル

1992年1月10日　第1版第1刷
編　集　株式会社アスキー　システム事業部
　　　　担当　北浦　訓行
発行所　株式会社アスキー
　　　　〒107-24　東京都港区南青山6-11-1　スリーエフ南青山ビル

印　刷　三共グラフィック株式会社